

平成 22 年 1 月 29 日

各 位

株 式 会 社 I H I  
東京都江東区豊洲三丁目 1 番 1 号  
代表取締役社長 釜 和明  
(コード番号 7013)  
問合せ先 広報・IR室長 竹園 良雄  
T E L 0 3 - 6 2 0 4 - 7 0 3 0

子会社の解散および特別損失の計上に関するお知らせ

本日、当社子会社の株式会社ギャラクシーエクスプレス（以下、「GX社」という。）は、同社の取締役会において、平成 22 年 3 月 31 日を目処として解散することを決定いたしました。また、当社は、GXロケットのプロジェクト中止およびGX社解散による損失として、平成 22 年 3 月期第 3 四半期において特別損失を計上することとなりました。

概要は下記のとおりであります。

記

1. 解散に至った経緯

GX社は、日本で初めての中小型衛星打上げビジネスへの参入を目的とした官民共同プロジェクトである「GXロケット」の研究開発を推進してまいりました。しかし、今般、GXロケットの開発が政府の判断により取りやめになったことから、GXプロジェクトを中止せざるを得ない状況となり、このたび、同社を解散することになりました。

2. 解散を予定する子会社の概要

商 号	株式会社ギャラクシーエクスプレス
代 表 者	代表取締役社長 近田 哲夫
設 立	平成 13 年 3 月 27 日
所 在 地	東京都江東区豊洲三丁目 1 番 1 号
資 本 金	472.7 百万円
事 業 内 容	ロケットの設計・研究開発・製造及び販売等
主な株主構成	当社および当社子会社 42%、ほか 7 名 58%

### 3. 今後の日程

平成 22 年 3 月下旬	G X 社株主総会にて解散決議（予定）
平成 22 年 9 月末	G X 社清算終了（予定）

### 4. 特別損失の計上と通期業績予想への影響

G X プロジェクトの中止に伴って見込まれる資産の廃却や G X 社清算などに係る損失として、連結ベースで第 3 四半期決算に約 113 億円の特別損失を計上する予定です。

なお、通期の連結ならびに個別業績予想につきましては、特別損失の計上はあるものの、一方でエネルギー・プラント事業の堅調な業績や、法人税等調整額の減少などの好転要素が見込まれることから、公表している業績予想に対して、大きな修正はないと見通しております。

以上